

平成28年 熊本地震

災害派遣活動



4月14日午後9時26分頃にマグニチュード6.4、16日午前1時25分頃マグニチュード7.3と2度に及び熊本地方を襲った地震災害の発生に伴い、4月16日、第13偵察隊（隊長 安河内2佐）及び第304施設隊（隊長 渡邊2佐）約90名の隊員が駐屯地を出発し、南阿蘇村において、人命救助、道路啓開、生活支援（物資輸送）を任務として、被害に遭われた方々が一日も早く笑顔で生活できることを願い、派遣された隊員は全力で従事しました。

隊員ご家族様には長期の災害派遣活動により、大変なご心配・ご苦勞をお掛けしたと存じますが、我々自衛官の使命であり、被災されました方々のためとご理解下さい。また、隊員が安心して活動できますことは、ご家族様のご理解・ご協力あつてのことであり、感謝申し上げます。当面の任務を終え、出雲に帰隊した各部隊は、引き続き即応態勢を維持し、鳥根県の地域防災の要としての役割を果たしてまいります。



発行所 鳥根県隊友会
編集協力 出雲駐屯地 広報室
印刷所 (有)福岡秀文堂



▲偵察隊長より説明を受ける旅団長



▲巡閲される旅団長



▲隊員に気さくに声を掛けられた旅団長

第13旅団長 鈴木将補・副旅団長 端1佐
出雲駐屯地初度視察

3月30日、第13旅団隷下部隊である、第13偵察隊、第13後方支援隊第2整備中隊偵察直接支援小隊（小隊長 飯田3尉）は旅団長鈴木将補の初度視察を受けました。旅団長は駐屯地各部隊長が出迎える中、出雲駐屯地に到着され、本部隊舎前にて儀仗隊（儀仗隊長 偵察隊清水2尉）の栄誉礼を受け巡閲された。引き続き、幹部挨拶、偵察隊長からの状況報告の後、隊内巡視を実施され、部隊及び駐屯地の現況を把握され、駐屯地体育館にて隷下部隊が整列する中、訓示を述べられた。昼食時には偵察隊幹部と和やかな雰囲気の中、会食が行われた。旅団長は約3時間の初度視察を終え、各部隊長の見送りの中、出雲駐屯地を後にされた。

旅団長統率方針
「任務完遂」
旅団長要望事項
— 訓練精倒
— 思いやり
— 地域と共に

転入部隊長紹介

第356会計隊出雲派遣隊長

2等陸尉 中山 貴行



この度、3月23日付で第356会計隊出雲派遣隊長に着任した中山2尉です。

地元は、出雲市(大社町)であり平成8年に当駐屯地にて入隊試験を受験した思い出深い駐屯地で勤務できることを嬉しく思っております。また、駐屯地内においても出雲弁が聞こえ、アットホームな人の温かさを感じ、勤務環境も素晴らしい駐屯地であると思います。

派遣隊長として「連携」を要望事項として業務に当たりたいと思います。会計隊は少数の部隊であり派遣隊内はもちろん上級部隊、駐屯各部隊と密接に連携を図り、各部隊が隊務を円滑に遂行できるように会計支援を実施して参ります。

生年月日	昭和52年12月12日
入隊年月日	平成8年3月28日
出身地	島根県
趣味	マラソン・読書
主要部隊歴	
平成8年	第356会計隊(米子)
平成14年	第350会計隊(海田市)
平成19年	第356会計隊(米子)
平成23年	第325会計隊(真駒内)
平成25年	北海道補給処沼田弾薬支所(沼田)
平成27年	第356会計隊(米子)

今後、駐屯地司令をはじめ、各部隊の隊員にお世話になります。よろしくお願いします。

第13後方支援隊第2整備中隊 偵察直接支援小隊

3等陸尉 飯田 光



この度、3月23日付で偵察直接支援小隊長に着任しました飯田3尉です。

日本各地を旅行や研修等で行きましたが、山陰地方に関しては初めて訪れました。出雲に来る前は車以外の移動手段が無いと聞いており、車を持っていない自分としては生活に不便ではないか、と不安に思っておりましたが、実際に生活してみると、自転車で行ける範囲にスーパーやホームセンター等があり、また出雲大社等の観光地や海にも近いので、非常に良い所だと思いました。

勤務方針に関しては、「一所懸命」として、あらゆる場所・状況においても全力をもって、任務達成のために邁進して行こうと考えております。

生年月日	平成3年4月23日
入隊年月日	平成26年3月22日
出身地	静岡県
趣味	サイクリング、釣り、プラモデル
主要部隊歴	
平成26年	幹部候補生学校(前川原)
平成27年	第13後方支援隊第2整備中隊本部(海田市)

今後、駐屯地司令をはじめ、各部隊の隊員にお世話になります。よろしくお願いします。

濱田護國神社

慰霊大祭

4月12日、尊い命を国のために捧げられた二万三千柱の御霊を慰める濱田護國神社慰霊大祭に出雲駐屯地を代表して駐屯地司令(安河内2佐)が参列した。

また、濱田護國神社の要請により、偵察隊松岡2曹以下3名のラッパ隊が参加協力し、黙祷時に「国の鎮め」を吹奏した。御英霊に対して哀悼の誠を捧げるとともに、今日の平和を引き続き維持していくと改めて決意を強くした一日となった。



▼玉串拝礼する司令



▲見事な吹奏を披露したらっぱ隊

守りたい人がいる

地域の皆様と共に心をつなぐ

守りたい人がいる

隊内生活体験支援

出雲駐屯地は、4月18日から20日の3日間、島根県内の企業3社の隊内生活体験を支援した。

参加したのは、株式会社中筋組、日本製紙株式会社、美保鉄筋株式会社の3社から合計20名で、偵察隊・山

根3曹が教官となり、第13偵察隊、第304施設隊合わせて4名の隊員が訓練を担当した。

新社員の入社等に伴い、基礎教育と研修の意味を兼ねて自衛隊に生活体験を希望する企業が増えている中、今回は2泊3日の隊内における集団生活が実施された。

参加者は、集団喫食・行進訓練・基本教練等、普段とは違う団体生活に不安と戸惑いを感じながらも日程を消化していった。

二日目の行進訓練は出雲市内の著名なポイントである出雲ドーム、出雲大社等巡る、約25kmの行程で行われた。

三日間と短期間ではあったが、担当教官・助教の熱意に参加者達は、互いに協力することや集団における規律の重要性等を体得して駐屯地を後にした。

また、駐屯地としては、今後もこれらの支援を通して自衛隊に対する親近感の醸成及び地域防衛基盤の育成に寄与していくこととしている。



▲稲佐の浜を行進する参加者



▲基本教練を行う参加者

春の全国交通安全運動に参加

4月6日から15日までの間、出雲駐屯地も「春の全国交通安全運動」に参加し、曹友会主体で交通ルールの遵守と正しいマナーの実践及び指導を行った。

今運動の基本を「子供と高齢者の交通事故防止」とし、自転車の安全利用の推進（特に、自転車安全利用五則の周知徹底）、後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底、飲酒運転の根絶を全国重点として、普及啓発活動が全国各地で行われた。



▲▼ティッシュを配り安全運転を呼びかける曹友会



「春の全国交通安全運動」は10日間で終わったが、運動期間に限らず今後も駐屯地からは交通事故を出さないよう心掛けていきたい。

自転車安全利用五則

- 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- 車道は左側を通行
- 歩道は歩行者優先で車道寄りを行
- 安全ルールを守る
- (飲酒運転は禁止、二人乗りは禁止、並進は禁止、夜間はライトを点灯、信号を守る、交差点での一時停止と安全確認)
- 子供はヘルメットを着用

防衛モニター等委嘱式

4月29日、駐屯地会議室に於いて、新しく選任指定された防衛モニター、駐屯地モニターの方々に委嘱状の伝達・贈呈が実施された。

防衛モニターには自衛隊や防衛問題に関する客観的な意見・要望などを自衛隊に伝えることを目的として園山靖子氏が防衛事務次官から委嘱され、また、駐屯地モニターには、日常の業務、行事等に関して駐屯地に対する様々な意見・要望の提出等を通じて、駐屯地と地域社会の連携等を図ることを目的として有富里紀



▲委嘱状を伝達される園山氏

わが家の新しい家族

第13偵察隊 秋田3曹夫人 秋田由姫

秋田朔空くん



平成27年10月6日、わが家に新しい家族が増えました。10歳の長女、8歳の次女そして、初の男の子「朔空」が誕生しました。生まれるときは家族全員に見守られ元氣な産声と共に誕生しました。

主人は三児の父親となり、仕事から帰宅後も子供達の相手と益々頑張ってくれ大変助かっています。今、私も育児休暇中です。初めての男の子であり又、上の子たちと年が離れている事もあり、毎日がとても楽しく、仕事に復帰したくないと思う毎日です。

今、一生懸命寝返りの訓練中です。一日一日成長している姿を見ているだけでもとても幸せを感じています。新しい家族を迎えて5人となった秋田家。これからも明るく楽しい毎日を過ごせればと思います。

人事往来

転出

- 部隊長
▽会計隊
2 等陸尉 村上 浩司
(第 425 会計隊 〓 富山)
- ▽偵察直接支援小隊
2 等陸尉 中村 陽平
(第 13 後方支援隊
第 2 整備中隊 〓 海田市)
- 幹部
▽偵察隊
3 等陸佐 征矢 憲治
(第 6 戦車大隊 〓 大和)
- 陸曹・陸士
▽偵察隊
1 等陸曹 吉川 浩信
(米子駐屯地業務隊 〓 米子)
- 2 等陸曹 本永 洋
(中部方面後方支援隊 〓 桂)
- 陸士長 小濱 彰太郎
(自衛隊阪神病院 〓 川西)
- ▽施設隊
陸曹長 植木 浩紀
(自衛隊島根地方協力本部)
- 3 等陸曹 米田 高志
(自衛隊岡山地方協力本部)
- 3 等陸曹 妹尾 直幸
(第 15 普通科連隊 〓 善通寺)
- 3 等陸曹 松本 透
(第 307 ダンプ車両中隊 〓 大久保)
- ▽第 1 直接支援隊
3 等陸曹 美濃 優樹
(高知駐屯地業務隊 〓 高知)
- 以上 3 月 23 日付
- 防衛事務官等
行 (-) 3 田中 孝之
(湯布院駐屯地業務隊 〓 湯布院)
- 行 (-) 3 木曾 茂樹
(自衛隊山口地方協力本部)
- 以上 4 月 1 日付

転入

- 部隊長
▽会計隊
2 等陸尉 中山 貴行
(第 356 会計隊 〓 米子)
- ▽偵察直接支援小隊
3 等陸尉 飯田 光
(第 13 後方支援隊
第 2 整備中隊 〓 海田市)
- 幹部
▽偵察隊
3 等陸佐 新谷 和久
(第 73 戦車連隊 〓 南恵庭)
- 陸曹
▽偵察隊
1 等陸曹 江隅 透
(第 14 後方支援隊 〓 善通寺)
- 1 等陸曹 原田 安一
(第 1 空挺団後方支援隊
〓 習志野)
- ▽施設隊
1 等陸曹 合原 幸治
(情報本部 〓 美保通信所)
- 2 等陸曹 原田 昌幸
(第 4 施設団本部付隊 〓 大久保)
- 2 等陸曹 寺戸 誠
(第 307 ダンプ車両中隊 〓 大久保)
- ▽業務隊
1 等陸曹 佐藤 英治
(第 13 旅団司令部付隊 〓 海田市)
- 2 等陸曹 西岡 秀泰
(第 13 後方支援隊 〓 海田市)
- ▽偵察直接支援小隊
2 等陸曹 三崎 将基
(第 13 後方支援隊
第 2 整備中隊 〓 海田市)
- 以上 3 月 23 日付
- 防衛事務官等
行 (-) 3 田村 嘉浩
(信太山駐屯地業務隊 〓 信太山)
- 行 (-) 3 木下 心哉
(伊丹駐屯地業務隊 〓 伊丹)
- 行 (-) 1 松本 直也
(新規採用)
- 以上 4 月 1 日付

祝 定年退官

永年の勤務お疲れ様でした。

偵察隊

准陸尉 本田 和資

帰任先…出雲市江田町



6月定年退官予定者

業務隊 陸曹長 三原 勉



読み終わったら

家族にも見せよう